

FFG証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 共同運営
福岡投資セミナー 質疑応答（サマリー）
(2026年2月12日(木))

Q フィジカルAI領域の可能性と、同領域における御社の取組みを教えてください

A 当社は、従来のようにプログラム通りに動作を繰り返すロボットではなく、状況に応じて判断できる自律ロボットの実用化を他社に先駆けて進めており、2年前に自律ロボット「MOTOMAN NEXT」を発売した。この技術はフィジカルAIと呼ばれ、AI技術の発展により昨今注目が高まっている。

「MOTOMAN NEXT」は搭載された NVIDIA 製 GPU を使って自社開発した AI モデルを実行しており、これにより、センサーが認識した周囲の情報を元に、AI が自動的に動作プログラムを生成している。生成された動作プログラムは、「MOTOMAN NEXT」の各関節部分に搭載されている専用の AC サーボモータによって再現されており、ここに「モータとその応用」という事業領域で正確性と品質でブランド力を築いてきた当社の強みが活かされている。また、開発環境をオープン化することで、SIer や IT ベンダーと容易に連携できる仕組みとなっている。

現在、「MOTOMAN NEXT」を活用した 100 件程度の案件が医薬や食品分野で進行しており、実用化に向けた取り組みが広がっている。

他方、当社はヒューマノイド領域の強化も進めており、昨年、東京ロボティクスを買収したことを皮切りに、ヒューマノイドの関節用アクチュエータの開発を加速している。開発したアクチュエータは「MOTOMAN NEXT」や東京ロボティクスが保有するヒューマノイドロボットに搭載して販売したのち、他社ヒューマノイドメーカーへの外販も検討している。

Q レアアースの供給不安定化による影響はどの程度か

A 従来から、レアアースの中国依存については危機意識を持っており、国内の有力なマグネットメーカーと長期的な契約を結び、数年分の所要量を国内の倉庫に現物で確保してもらっている。そのため、今回の規制強化が足元の業績に影響するリスクはほぼないと想定する。

3年の間にリスクが緩和することを期待するが、そうならなかった場合に備え、規制対象外の原料に対応した設計への変更や購買体制の強化に向けた取り組みは継続していく。